

緑と水と木の祭典「第29回山形県林業まつり」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 山形水源林整備事務所

山形水源林整備事務所は、令和元年10月19日（土）～20日（日）に山形県総合運動公園（天童市）で開催された「第29回山形県林業まつり」に参加しました。

この林業まつりは、山形県内の森林・林業・木材産業関係者が一堂に会し、森林や林業、さらには環境に対する県民の理解を深め木材や林産物等の利用の推進するため、また、美しく健全な山形の森林づくりを推進するとともに地域林業・木材産業の振興することを目的として、毎年この時期に開催されます。当事務所では、水源林の重要性に対する理解を深めていただく絶好の機会として、積極的に参加しています。

今年は、初日があいにくの雨となりましたが、日曜日は晴れて良い天気となり、2日間で約2万9千人（実行委員会発表）の来場者がありました。

当事務所ブースでは、東北北海道整備局職員とともに、水源林造成事業の概要を紹介したパネル展示や水源林造成事業地の写真展示、リーフレット配布による事業のPRのほか、恒例の木偏の漢字当てクイズや、松かさ工作コーナーを設けました。漢字当てクイズには、児童から大人まで幅広い世代の方々がチャレンジされて、盛り上がりました。また、松かさ工作を楽しみにしているリピーターの方もいて、多くの方に楽しんでいただきました。

今後も森林整備センターの業務について、多くの皆様に理解を深めていただけるよう取り組んで参ります。



松かさ工作コーナー



森林整備センターのブースの様子



木偏の漢字当てクイズ